

人体に関する部首

おもな八つの部首をあげてみました。部首としてみれば、これが人体を表わしているのか、と思うような形のものもありますが、ちょっと手を加えてみますと、りっぱに人間の形を表わしたものであることがよくわかると思います。

人は、独立しても用いられる部首ですが、他の部首は独立して用いられることはありません。

从は、「従(旧字体は從)」の最も古い形です。今の中国では、この最も古い形を採用しています。人が前に行く人に“したがう”意味を表わした会意字です。後に𠤎がついたものです。辵は、辵の古い形です。丸通では𠤎という古い形を使っています。

众は、衆の古い形で、中国の新字でもあります。これが変形して𠤎となり𠤎となりました。人三人で、「大衆」という意味を表わした会

意字です。血は、最初は𠤎で目でした。

亻は、^ニ人扁と呼ばれて、最もありふれた形で、どなたも御存知の部首です。

仁は、“人二人”という意味の字です。人が人に対して抱く“人情(ヒューマニティー)”を表わした字です。孔子は、これを人間道德の最高のものとししました。音は人(^ジニ)です。

位は、“人の立つところ”という意味の字です。位置。地位。官位。

依は、“衣類が人体にまといつく”ことから、“よりつく”意味を表わした会意形声字です。音は衣^イ。

使は、“官吏は人のために働く”ものであるから、“人のために働く”ことを表わした会意形声字です。音は吏^リの本来の音史^シ。

匕は、hi(匕、またはハイ)という音を持っています。なまってシと読まれるものもあります。

比は、“人がならぶ”が本義ですが、二人並べば、すぐ比較が始まることから“くらべる”という使い方が起こりました。「比翼」は並べる、

「比較」はくらべる。

北は、人が背中合わせした形で、“せなか”が本義です。背中を人に見せることは、負けて逃げることですから、“負ける”という意味が生まれました。「敗北」の北がこれです。人は太陽の方角に向かいたがります。すると、背中は“きた”を向きます。そこで、“きた”の方角を表わす字になりました。(転注)。そのため、本義の“せなか”を表わす字として、北に肉をつけて「背」という字を作ったのです。音はヒ(hi)です。

匕は、第一章の「化」の所でお話したように、“死ぬ”意味の部首で、音はカです。今では「匕」も「匕」も同じ字形になります。

儿

元は、亠(上の古い字体)と儿との会意字です。“人の上の部分”という意味で、“あたま”が本義です。「元首」は「頭首」と同じ意味の言葉です。一年の初頭を「元日」と言うのです。

児の旧は臼(☺)で、頭の形です。体に比較して頭の大きい人、

つまり“子ども”を表わした字です。幼児。児童。

克の古は𠂔で、かぶとの形です。人が甲冑を着けて戦闘に“よく耐え抜く”という意味の字です。

単に“勝つ”というだけの意味ではなくて、“苦難に耐えてやり抜く”ことです。克服。克己。

充の𠂔は、育の略形です。人を育てて“体格をりっぱにする”ことです。充実。𠂔は𠂔で、子を逆さにした形です。育は、子供に肉を与えて、“そだてる”という意味の字です。

勹

包は、己(こども)を“だきかかえる”のが本義の字です。今は、“つつむ”という意味に使われていて、そのため、本義を表わすのには、扌を加えて「抱」という字を作りました。

胞は、“腹の中の子供”という意味の字です。胞子(音は包)。

泡は、“空気を包んだ水”という意味の字です。「あわ」のことです。

尸は、腰かけて、体を伸ばしている形を表わしたものです。“人”
“体を伸ばす”“腰”などの意味に使われます。音はシです。

居は、尸に発音を表わす古を付けた形声字です。居士。コは呉音、
漢音はキョです。

展は、尸に発音を表わす夨(テン)を付けた形声字です。尸の“体
を伸ばし広げる”が本義で、今では、体に関係なく、“広げる”意味に
使われています。展開。展覧会。

尾は、^{シリ}“尻の毛”という意味の字です。

屎は、“尻から出る糞”つまり“くそ”ということになります。

尿は、“尻から出る水”つまり“にょう”ということです。

屈は、“腰をかがめて出る”という意味の字です。昔は、家の出口
は小さく作られていましたので、腰をかがめないと出ることができな
かったのです。屈折。屈曲。

屋は、入の至り止まる所、という意味で“いえ”を表わした字です。
家屋。屋室。

室という字も、同じ意味で作られた字です。